

教員 1 年目、2 年目…そしてこれから！ ～現場の先生からのメッセージ～

教育学部附属教育支援センター長 原 丈貴

教職をめざしている学生から、「教員として学校現場で働くようになったとき、児童・生徒たちとのよりよい関係づくりに不安がある」、「担任として、4 月当初からの『学級経営』の具体的な方向性に悩みがある」などの声を聞きます。

このような状況をふまえ、教育実習を控えた学生や教員採用試験を控えた学生等を対象に、島根県教育センターから指導主事の先生と、学校現場で2年以上の実践経験を踏まえた教員（小学校教員1名、中学校教員1名）を講師として招き講演会を行いました。

児童・生徒との関係づくりや、「学級経営」の具体的な実践に関する話を聞く機会を設定することは、不安や悩みなどの解消だけでなく、教職に向けての志望動機を高めることにつながるものと考えます。さらに、初任者研修等において「学級経営」の指導経験のある指導主事から、「学級経営」の基本的な考え方や具体的な方向性などの話を聞くことで、理論と実践のつながりを深く認識することができるようになり、より高い教職志望をもつことができるようになると思います。

